

# 尼崎市障害者計画等の改定に係るアンケート調査の実施概要について

資料4-1

## 1 調査目的

この調査は、本市における障害のある人の生活状況や福祉サービスの利用状況、利用意向、ご意見等をお伺いして、本市障害者計画の進捗状況等を把握するとともに、今回の障害福祉計画の改定などのための基礎資料とすることを目的に実施するものである。

(過去の実施年度) 平成 20 年度、平成 25 年度、平成 29 年度、令和元年度

## 2 調査設計

### (1) 調査対象者

本市の手帳所持者から、障害種別や年齢層ごとの人数割合を設定した上で、全対象者から無作為抽出(全 7,500 人)を行う。

対象者			前回調査実績(参考)	
			調査数※1	回収率
①	身体障害のある人	18 歳以上の身体障害者手帳所持者	3,000 人	41.5%
	難病の人	18 歳以上の難病患者	80 人	37.5%
	知的障害のある人	18 歳以上の療育手帳所持者	1,350 人	35.6%
②	精神障害のある人	18 歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者	1,900 人	35.6%
③	障害のある児童	18 歳未満の手帳所持者等※2	1,170 人	36.1%
合計			7,500 人	38.6%

※1 今回の調査数についても、前回(令和元年度)調査をベースに委託業者(コンサルティング会社)と協議のうえ決定する。

※2 手帳を所持しない障害児通所支援等のサービス利用者も含む。

### (2) 調査方法

調査票は、「①18 歳以上の身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・難病患者用」、「②18 歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者用」、「③18 歳未満の手帳所持者等用」の3種類とし、郵送(WEB 回答の可否は委託業者と調整中)による配付・回収を行う。なお、回答は本人記入方式(本人が記入できない場合は家族等)とする。

## 3 設問設定の考え方

(1) 回答者の基本情報(属性)にかかる設問以外については、尼崎市障害者計画の進捗状況等の把握を効果的に行うため、基本施策 1~9 ごとに関係する設問を設定している。

(2) 前回調査の実施にあたっては、従前の回答しづらい設問(不明などが多い設問など)を削除・統合するほか、障害者施策に対する本市の状況把握や本市障害者計画に対する評価などにつなげられるよう、大幅な設問の改定を行っており、前回調査との比較・検討等を行っていく観点からも、今回のアンケート調査においては、基本的に大きな設問の改定は行わないこととする。

そのため、近年の社会情勢や国の基本指針の見直しに関する内容に限り、専門分科会等の委員に意見を伺うこととする。

※(参考) 前回調査の設問数: 67 問程度(補問含む)

以上